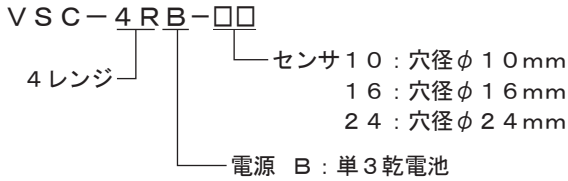


雷サージカウンタ

VSC-4RB-□□

■ 形式

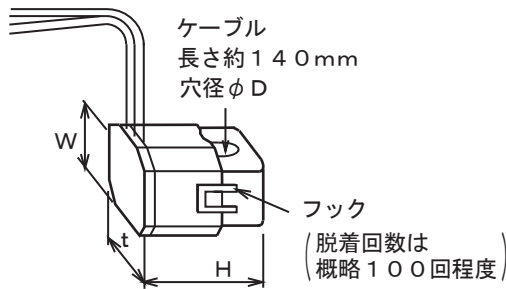


■ 主な機能と特長

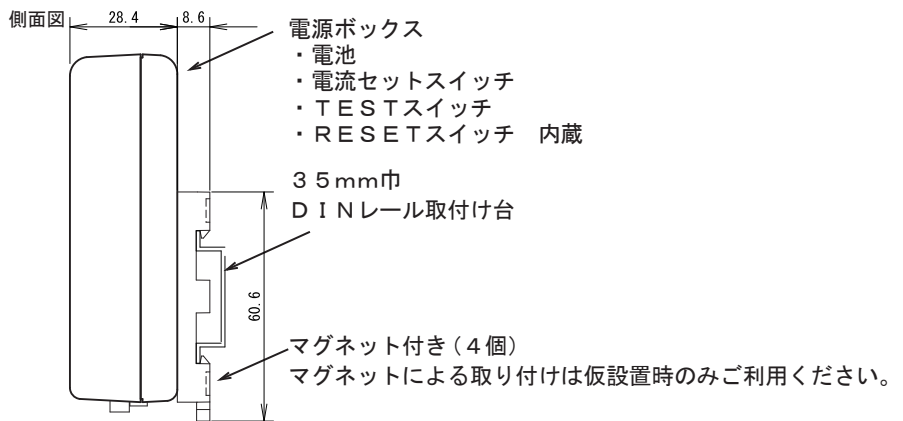
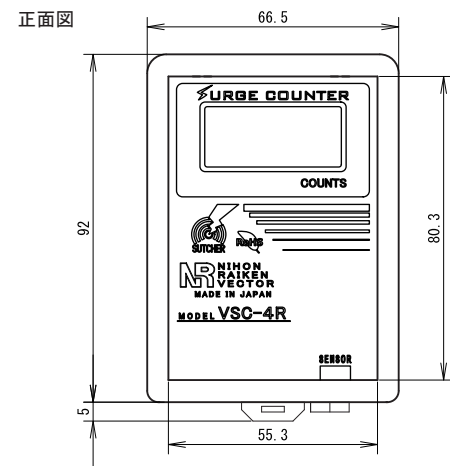
- ・ 検出電流は現場で切換え可能
レンジ選択 (10A/20A/50A/100A)
- ・ サージセンサは取付けが簡単なクランプ式
- ・ デジタル表示が大きく見やすい
- ・ 手動リセット付きで操作が簡単
- ・ DINレール取付け可能
- ・ 仮取付け用マグネット付き

■ サージセンサ外形寸法図 (単位: mm)

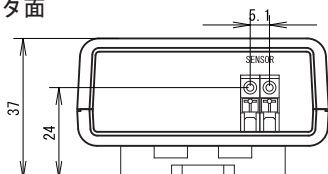
MODEL	サージセンサ外形寸法
VSCT-10	穴径φ10 28W×42H×28t
VSCT-16	穴径φ16 31W×47H×32t
VSCT-24	穴径φ24 34W×65H×49t



■ 本体外形寸法図 (単位: mm)



コネクタ面



■ 仕様

検出電流 : インパルス8/20μs
10A/20A/50A/100A以上
(スイッチ切替可)

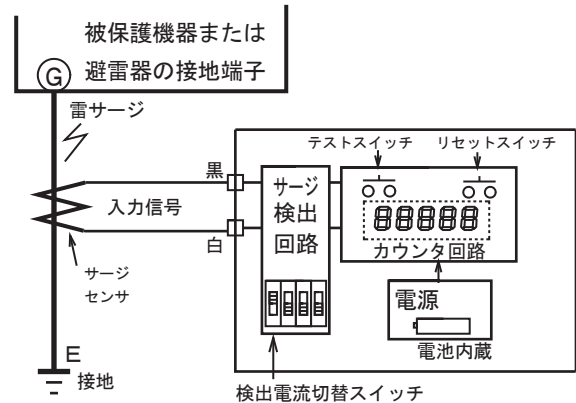
表示方式 : 7セグメントLCD
桁数 : 5桁 (文字高さ14mm)
使用温度範囲 : -10~+60°C 但し氷結しないこと
使用湿度範囲 : 35~85%RH 但し結露しないこと
寸法 : W66.5×H37×D97mm
重量 : 約122g (電池込み、サージセンサは含まず)
ケース外装 : ABS樹脂 (ブラック)
電源 : 単3形電池 (LR6) DC1.5V 約7μA
電池寿命 : 2年以上
(但し、温度による寿命の保証は致しかねます。)

接点出力 : なし
規格 : ROHS指令適合

■ 付属品

クランプ式サージセンサ (指定) 1個

■ 端子接続図



⚠ 避雷針の接地線には使用しないでください。

5mmピッチ

使用可能電線 : 単線0.4~1.2mm (AWG26~16)
撚線0.2~1.25mm² (AWG24~16)

端子金具 : PC端子/標準剥き線長 11mm

使用工具 : マイナスドライバー/刃先幅2.6mm

本器を安全に正しく使用していただくため、事前に下記の事項をご確認ください。

■ お願い

- ① センサの端子には指定以外の部品を接続しないでください。
 - ② 取り付け時の注意
 - ・ 耐水性、耐油性では有りません。水気や油気をさけてください。
 - ・ 爆発性ガス、引火性ガスのあるところでは使用しないでください。
 - ・ 修理の際は販売店を通じて製造元に返送してください。
- ⚠ 避雷針のアースには使用しないでください。

■ 正しい使い方

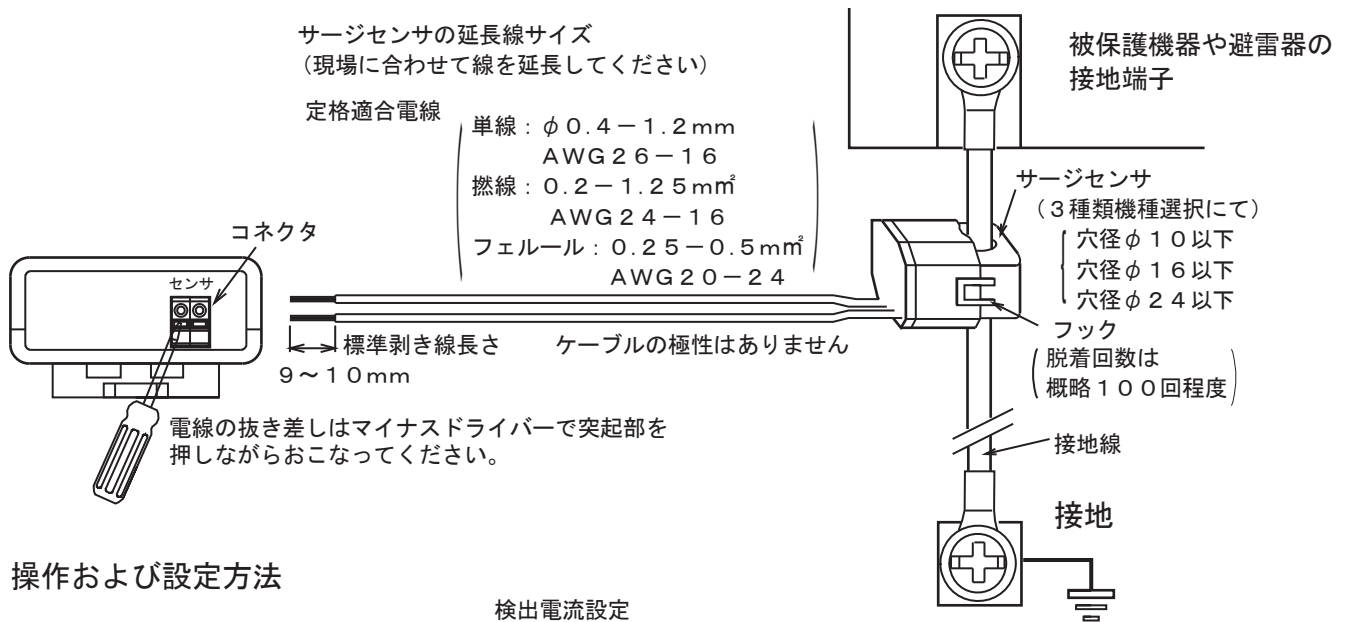
① 電池式VSC-4RBの場合

- ・ 長期間使用しない場合は電池を取りはずしてください。— 液漏れにより電極が腐食します。
- ・ ⊕ ⊖ を間違えないようにしてください。
- ・ 電池交換時に計数値を残したい場合、電池抜き取り後、約30秒間は維持しますので、その間に交換してください。

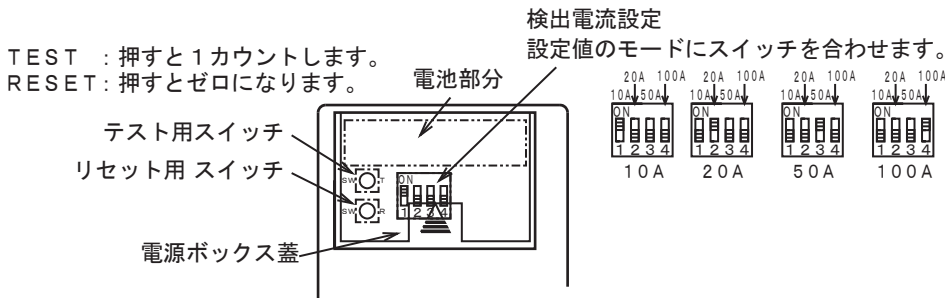
② 下記の環境では使用しないでください。

- ・ 温度変化の激しい場所や湿度が高く、結露が生じる恐れのある場所。
- ・ 振動の激しい場所
- ・ 高圧電源付近や発電機、インバータなど強電磁界の多い場所。
- ・ 換気扇や蛍光灯のスイッチなどのノイズ源を避けて配線してください。

■ 取付方法および端子配列



■ 操作および設定方法

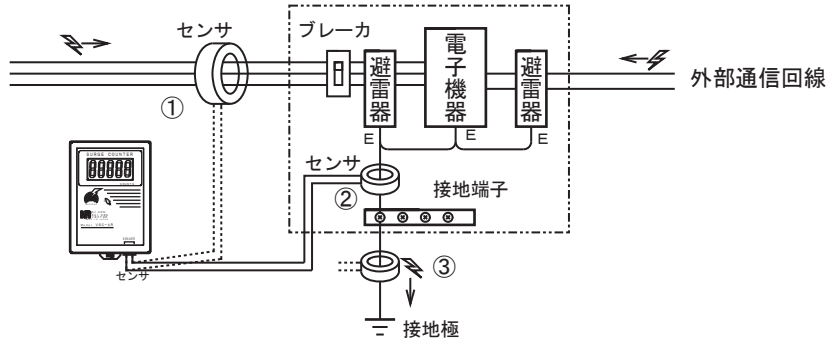


■ 品質保証

保証期間：ご納入後1年間の保証と致します。 保証期間：ご納入後1年間の保証と致します。
保証条件：万一、当方の責任による不測の故障等が生じた場合、保証期間内において無償修理致します。
但し、分解されたものにつきましては保障致しかねます。

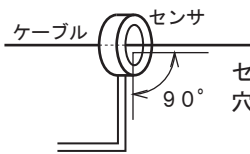
■ 設置方法

・ 電源ラインの場合



- ① 電源ラインは全線をクランプしてください。（常に位相がゼロであること）
- ② 避雷器の通過確認は接地端子のところでクランプしてください。（推奨）
- ③ 盤全体と接地間の場合は、接地端子以降でクランプしてください。
盤全体が建物の鉄骨などに取り付いている場合は、計数はできません。
また、避雷針、A種B種D種C種接地が同電位化されている場合は、
ノイズの影響により正しい計数ができないことがあります。

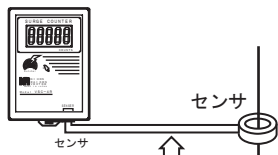
■ センサのつけ方



センサの穴に対して直角が望ましい。
穴径に対してケーブルが細い場合、ビニールテープやインシュロックなどで固定してください。

■ 設置に関する注意

近傍にノイズの発生源がある場合正しく計数しないことがあります。



延長線は、ツイストペア線やシールド線にする方法が、ノイズ対策として有効な方法です。

- ・ 近傍にモーターなどある場合、常時ノイズが生じています。
- ・ 換気扇などある場合、スイッチのON/OFFでノイズが発生します。
- ・ パネル内用の蛍光灯のON/OFF時ノイズが発生します。
- ・ マグネットリレーなど大電流の入り切り際に発生するノイズも存在しますので、いずれも内部雷と称するもので、検出ラインを通過する電流であれば防ぎ様がありませんが、電波によるカウントであれば、シールド線を使用するか、センサの2本のケーブルをツイスト（捻じる）することで多少軽減できることもあります。その他、設定値を大きい方に切り替える方法もあります。